令和６年度大学院自然科学研究科進路意向アンケート(博士前期課程２年次対象)

Ⅰ　アンケート調査の概要

1 調査目的

博士前期課程２年次生の進路にかかわる意向調査をとおして大学生活において、充実した進路・キャリア形成の機会を作ることを目的として実施

2 実施期間

令和6年6月17日～7月5日

3 実施方法

調査対象：令和6年度博士前期課程2年次生
調査方法：学務情報システムアンケート機能を利用

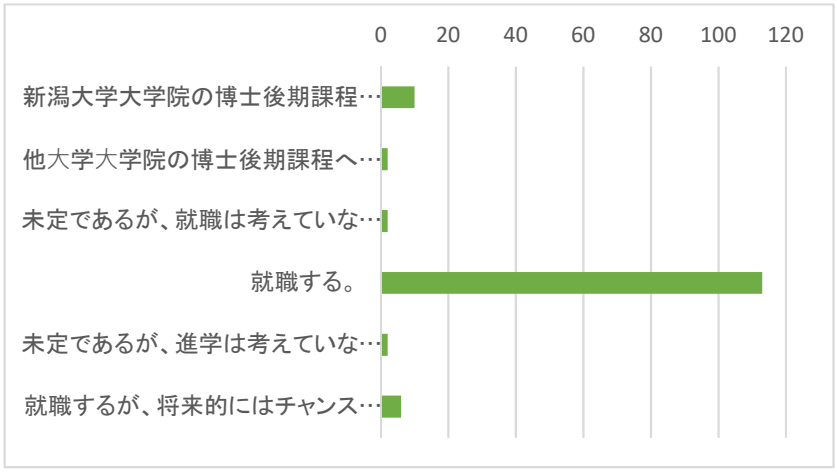
4 回答状況

学生数：504名　　回答数：135名　　回答率：　26.8%

Ⅱ　アンケート集計結果

設問1　博士前期課程修了後の進路：現時点で予定をしている博士前期課程修了後の進路について教えてください。【4者択1】（必須）

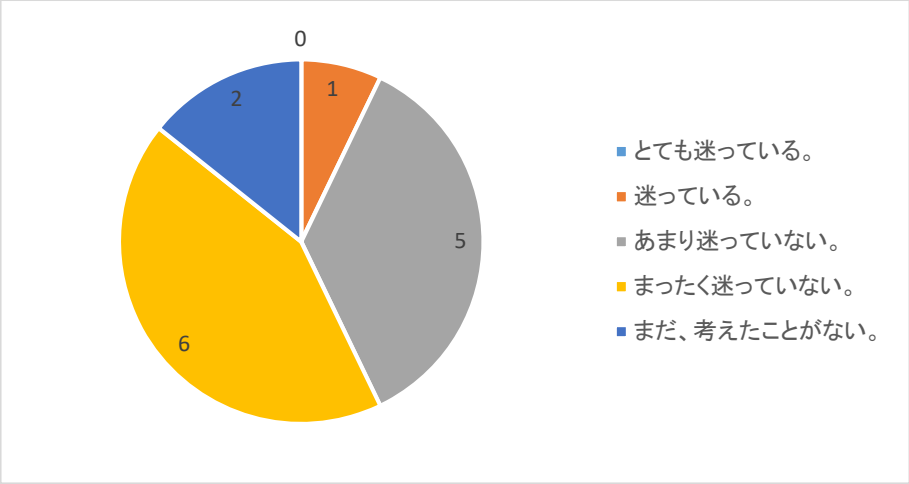
1	新潟大学大学院の博士後期課程へ進学する。	10
2	他大学大学院の博士後期課程へ進学する。	2
3	未定であるが、就職は考えていない。	2
4	就職する。	113
5	未定であるが、進学は考えていない。	2
6	就職するが、将来的にはチャンスがあれば社会人博士課程に進みたい。	6



Ⅱ－ １　博士後期課程進学に関するアンケート

設問2　博士後期課程進学の検討：設問1.の博士前期課程修了後の進路について、意思決定の度合いを教えてください。【5者択1】（必須）

1	とても迷っている。	0
2	迷っている。	1
3	あまり迷っていない。	5
4	まったく迷っていない。	6
5	まだ、考えたことがない。	2



設問3　博士後期課程進学の検討：設問2.の質問で［1, とても迷っている」、「2, 迷っている」のいずれかを選択した方にお伺いします。博士後期課程への進学について、迷っている理由を教えてください。【8者択8】 ※最低1個の選択肢を選択してください。

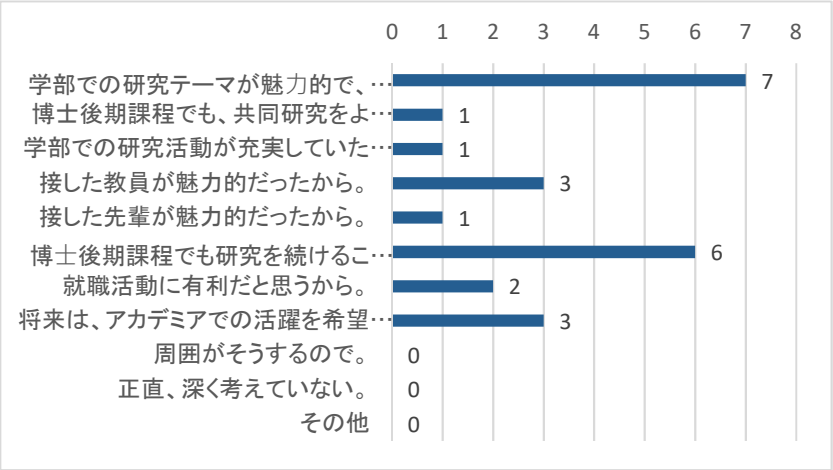
1	博士後期課程修了後、就職できるかどうか不安だから。	1
2	博士後期進学についての情報が少なく、進学後の生活がイメージできないから。	0
3	進学することでさらにお金がかかるから。	1
4	博士後期課程に求められているレベルを備えているか、向いているのか不安だから。	0
5	博士号を取得しても就職で有利になるイメージがないから。	0
6	指導教員が多忙で十分な指導を受けられるかどうか不安があるから。	0
7	学費の調達が難しい。	1
8	その他	0

設問4　設問3 で「4, 博士課程に求められているレベルを備えているか、向いているのか不安だから。」を選択した方にお伺いします。
不安である理由としてはどのようなものが考えられますか。【10者択10】（複数回答可）

1	専攻分野への深い興味や探求心を持っているか，研究が本当に好きかどうか現段階では自分でも分からない	0
2	自分は研究には向いていないと思っている。	0
3	専攻分野の研究で必要な基礎的知識を身につけているか不安がある。	0
4	研究成果を論文（博士論文含む）にまでまとめることができるか不安。	0
5	グローバルに活躍し海外の研究者とも情報交換できるか不安。（語学力）	0
6	博士後期課程の先輩を見ていて，自分が研究についていけるか不安がある。	0
7	標準修業年限（3年間）で修了できるか不安がある。	0
8	そもそも博士後期課程で要求されるレベルが分かっていない	0
9	他大学の大学院の様子・レベルがわからない。	0
10	その他	0

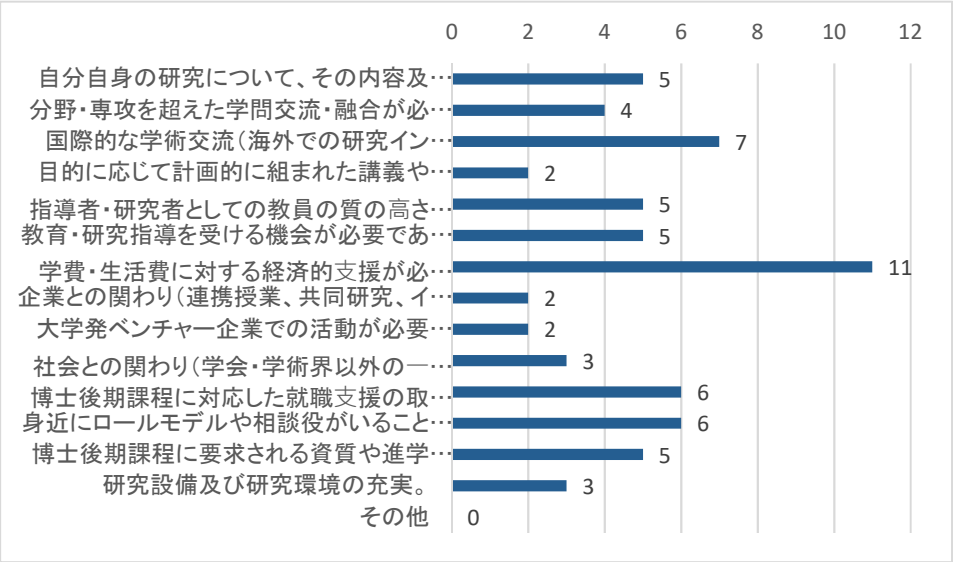
設問5　博士後期課程進学の検討：設問1 の博士後期課程修了後の進路について、「1, 新潟大学大学院の博士後期課程に進学する。」を選択した方にお伺いします。本学の博士後期課程への進学を検討することに影響のある観点を選択してください。（推奨3点選択）【11者択3】

1	学部での研究テーマが魅力的で、博士後期課程でもその研究を継続したいから。	7
2	博士後期課程でも、共同研究をより経験したいから。	1
3	学部での研究活動が充実していたから。	1
4	接した教員が魅力的だったから。	3
5	接した先輩が魅力的だったから。	1
6	博士後期課程でも研究を続けることで、より成長できると思うから。	6
7	就職活動に有利だと思うから。	2
8	将来は、アカデミアでの活躍を希望しているから。	3
9	周囲がそうするので。	0
10	正直、深く考えていない。	0
11	その他	0



設問6　博士後期課程進学率改善への取組み：新潟大学大学院自然科学研究科博士後期課程が今よりさらに魅力的になり、進学が前向きに検討されるようにするためには、どのような活動や研究の舞台、仕組みを充実するべきだと思いますか。【13者択13】(必須)

1	自分自身の研究について、その内容及び時間に裁量があること。	5
2	分野・専攻を超えた学問交流・融合が必要である。	4
3	国際的な学術交流（海外での研究インターンシップ、海外の大学への留学、国際学会、海外機関との共同研究など）が必要である。	7
4	目的に応じて計画的に組まれた講義や演習が必要である。	2
5	指導者・研究者としての教員の質の高さが必要である。	5
6	教育・研究指導を受ける機会が必要である。	5
7	学費・生活費に対する経済的支援が必要である。	11
8	企業との関わり（連携授業、共同研究、インターシップなど）が必要である。	2
9	大学発ベンチャー企業での活動が必要である。	2
10	社会との関わり（学会・学術界以外の一般社会に向けた情報発信など）が必要である。	3
11	博士後期課程に対応した就職支援の取り組みが必要である。	6
12	身近にロールモデルや相談役がいることが必要である。	6
13	博士後期課程に要求される資質や進学後の研究生活についての情報が必要である。	5
14	研究設備及び研究環境の充実。	3
15	その他	0

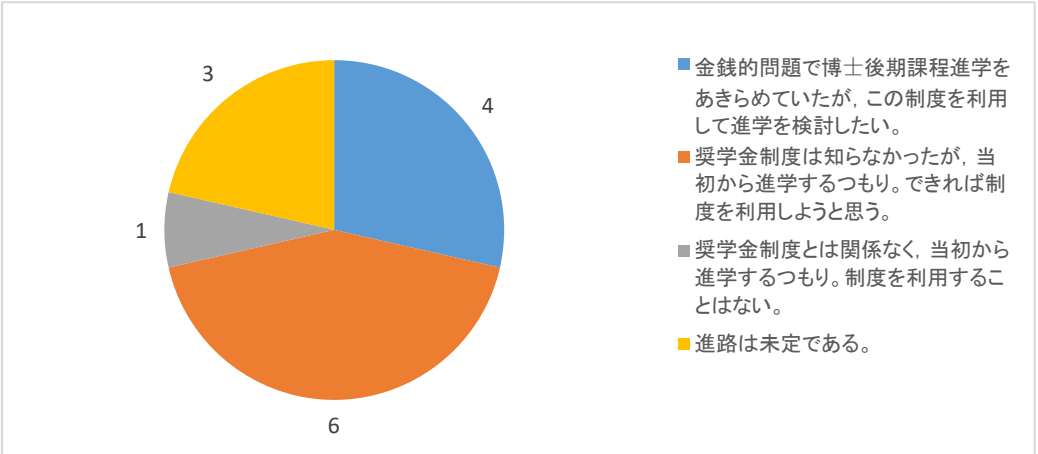


設問7　博士後期課程進学を支援する返還不要の支援金制度（学振DC，新次世代事業：いずれも年間200万円程度支給）があることは知っていましたか。【2者択1】　（必須）

1 知っている。	7
2 知らなかった。	7

設問8　前項の設問の支援金制度があれば，博士後期進学を検討する材料になりますか。【4者択1】（必須）

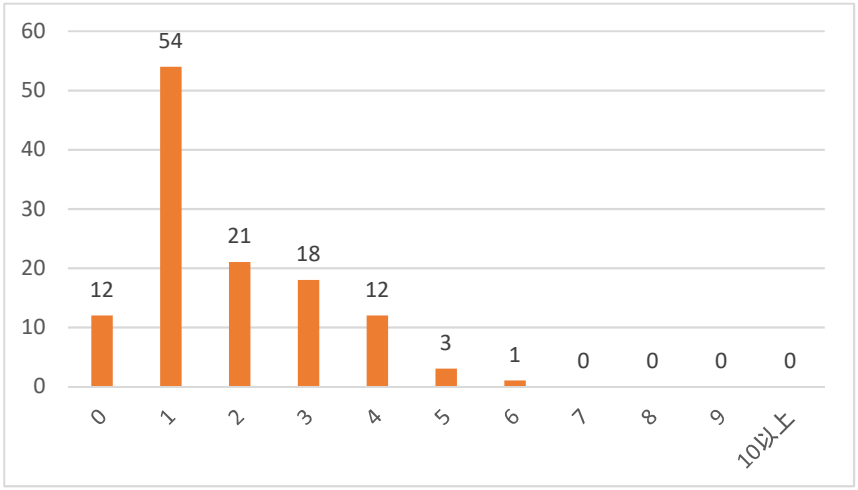
1 金銭的問題で博士後期課程進学をあきらめていたが，この制度を利用して進学を検討したい。	4
2 奨学金制度は知らなかったが，当初から進学するつもり。できれば制度を利用しようと思う。	6
3 奨学金制度とは関係なく，当初から進学するつもり。制度を利用することはない。	1
4 進路は未定である。	3



Ⅱ－2　就職活動に関するアンケート調査

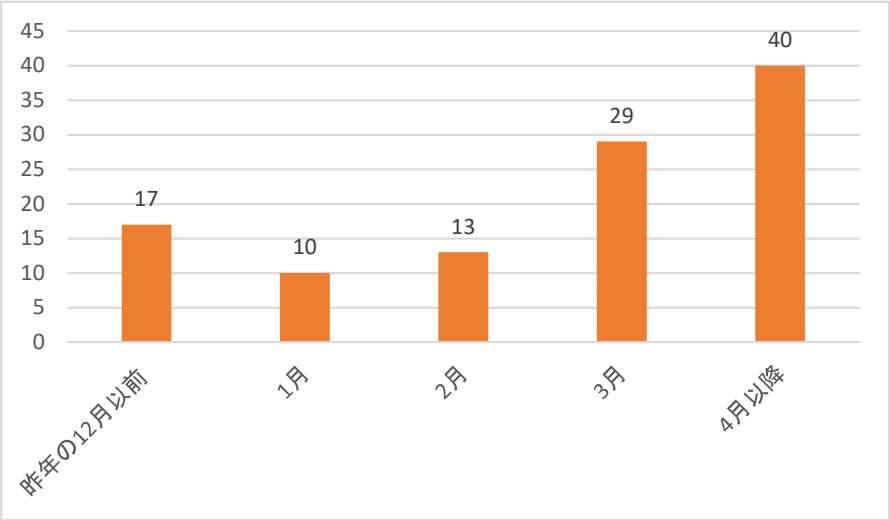
設問9　このアンケート回答時点で内定(内々定も含む)を得ている企業の数を選択してください。

0	12
1	54
2	21
3	18
4	12
5	3
6	1
7	0
8	0
9	0
10以上	0



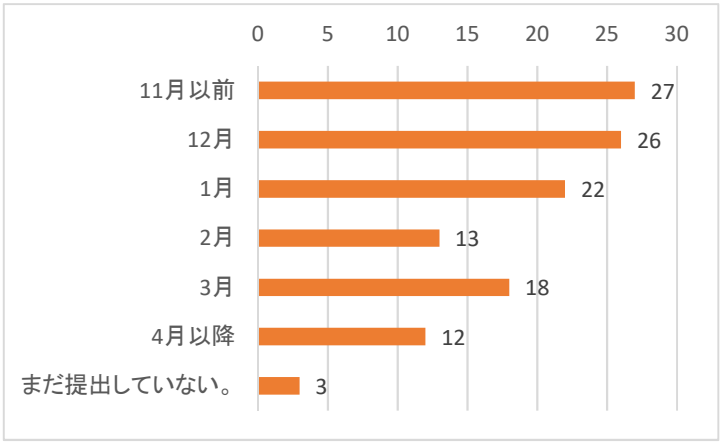
設問10　最初の内定(内々定も含む)が出たのはいつ頃ですか。

昨年の12月以前	17
1月	10
2月	13
3月	29
4月以降	40



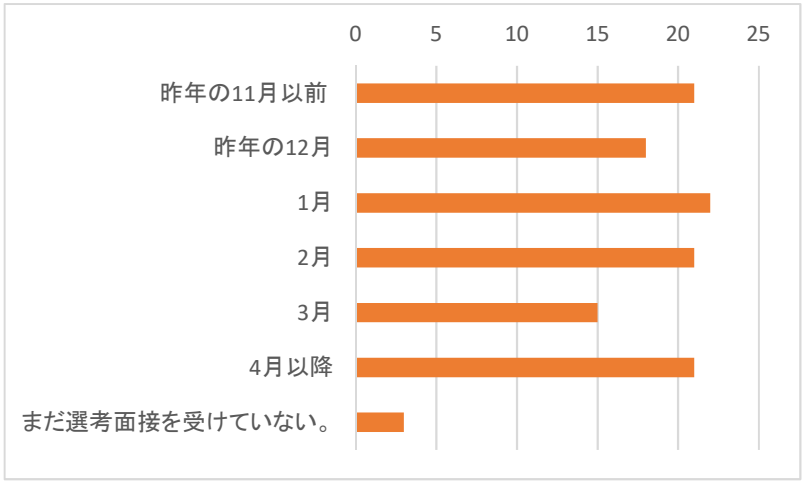
設問11　選考採用のエントリーシートの提出は何月ころから行いましたか。

11月以前	27
12月	26
1月	22
2月	13
3月	18
4月以降	12
まだ提出していない。	3



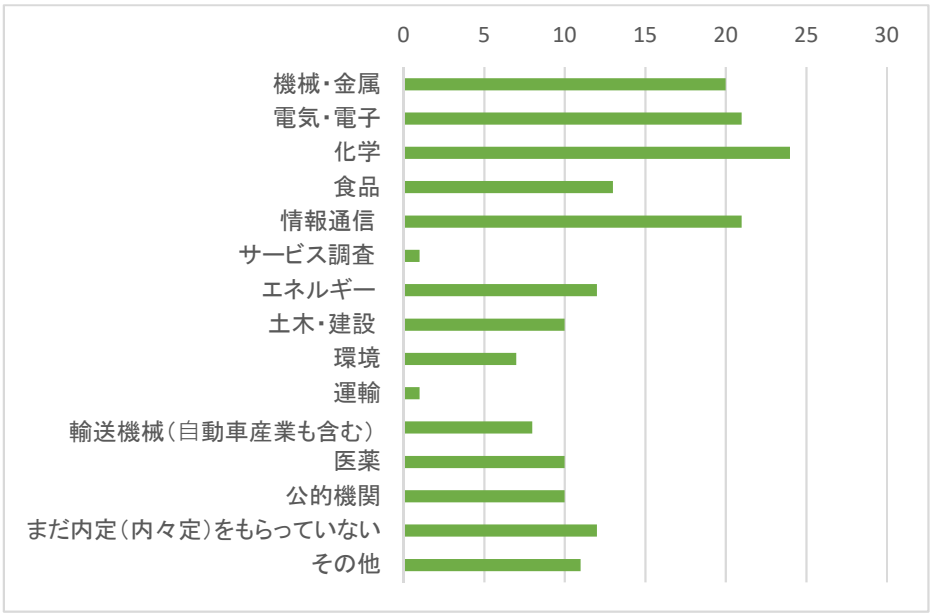
設問12　最初に選考面接を受けたのは何月ころですか。

昨年の11月以前	21
昨年の12月	18
1月	22
2月	21
3月	15
4月以降	21
まだ選考面接を受けていない	3



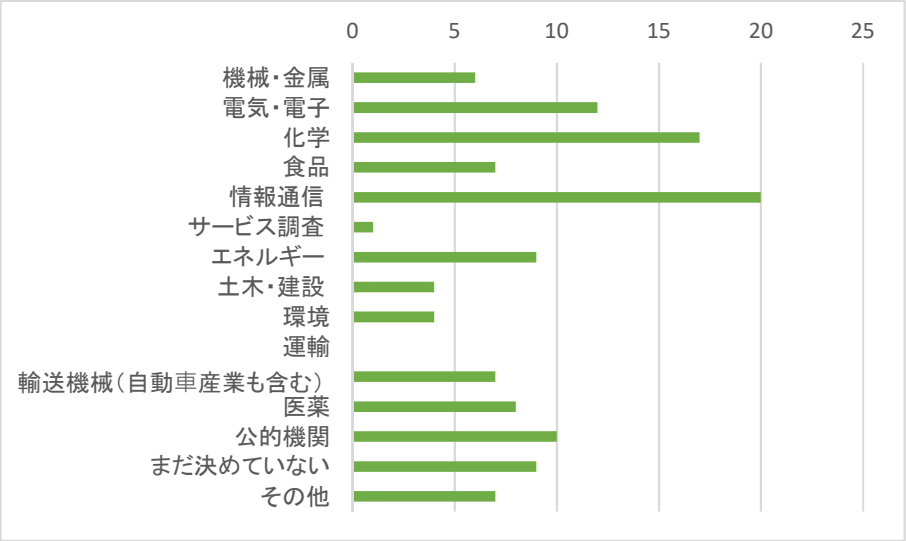
設問13　内定（内々定も含む）を得た業界はどのようなところですか。以下から選んでください。（複数回答可）

機械・金属	20
電気・電子	21
化学	24
食品	13
情報通信	21
サービス調査	1
エネルギー	12
土木・建設	10
環境	7
運輸	1
輸送機械（自動車産業も含む）	8
医薬	10
公的機関	10
まだ内定（内々定）をもらっていない	12
その他	11



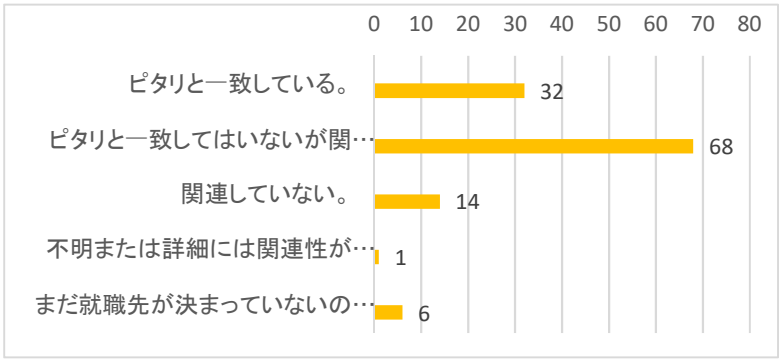
設問14　就職を決めた業界はどのようなところですか。以下から選んでください。

機械・金属	6
電気・電子	12
化学	17
食品	7
情報通信	20
サービス調査	1
エネルギー	9
土木・建設	4
環境	4
運輸	0
輸送機械（自動車産業も含む）	7
医薬	8
公的機関	10
まだ決めていない	9
その他	7



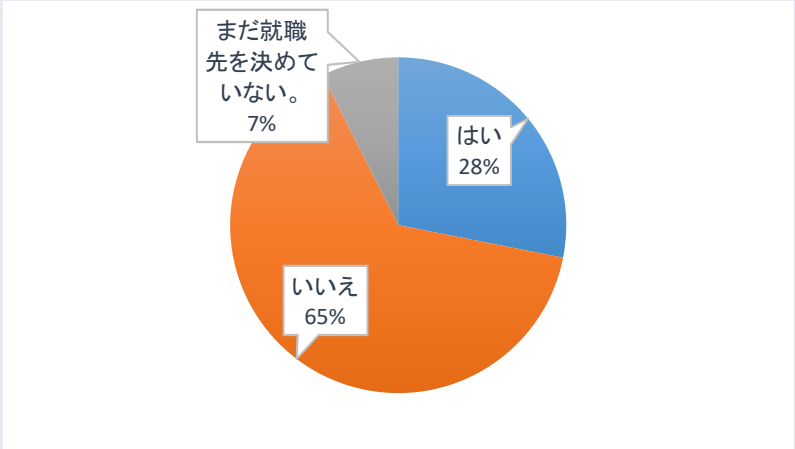
設問15　就職を決めた業界は、現在の自身の専攻分野と関連のある業界ですか？

1 ピタリと一致している。	32
2 ピタリと一致してはいないが関連はある。	68
3 関連していない。	14
4 不明または詳細には関連性がわからない。	1
5 まだ就職先が決まっていないので答えられない。	6



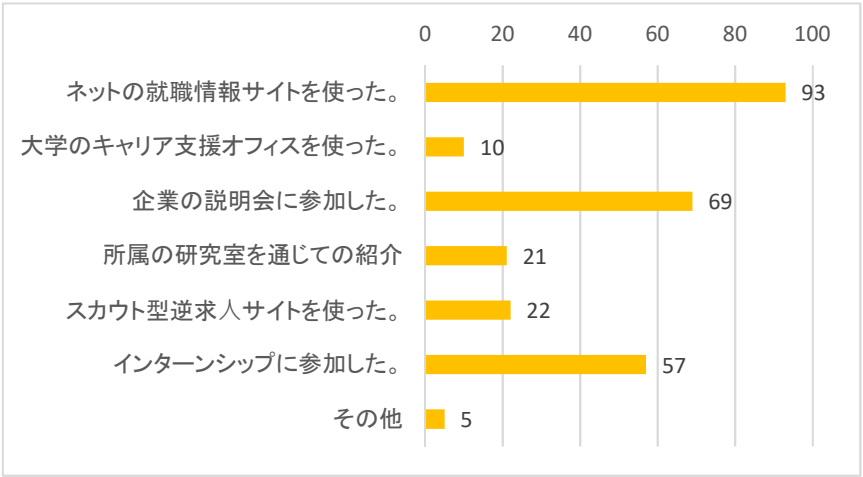
設問16　就職を決めた企業は新潟県内の企業（機関）または県内に事業所を持つ企業（機関）ですか。【2者択1】(必須)

1 はい	34
2 いいえ	78
3 まだ就職先を決めていない。	9



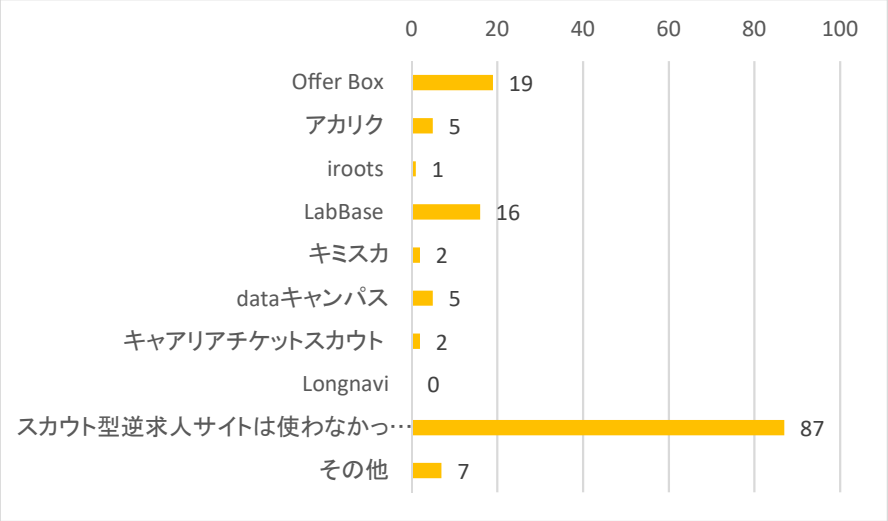
設問17　どこから企業等の情報収集を行って就職先または応募先を決めましたか。【複数回答可】

1 ネットの就職情報サイトを使った。	93
2 大学のキャリア支援オフィスを使った。	10
3 企業の説明会に参加した。	69
4 所属の研究室を通じての紹介	21
5 スカウト型逆求人サイトを使った。	22
6 インターンシップに参加した。	57
7 その他	5



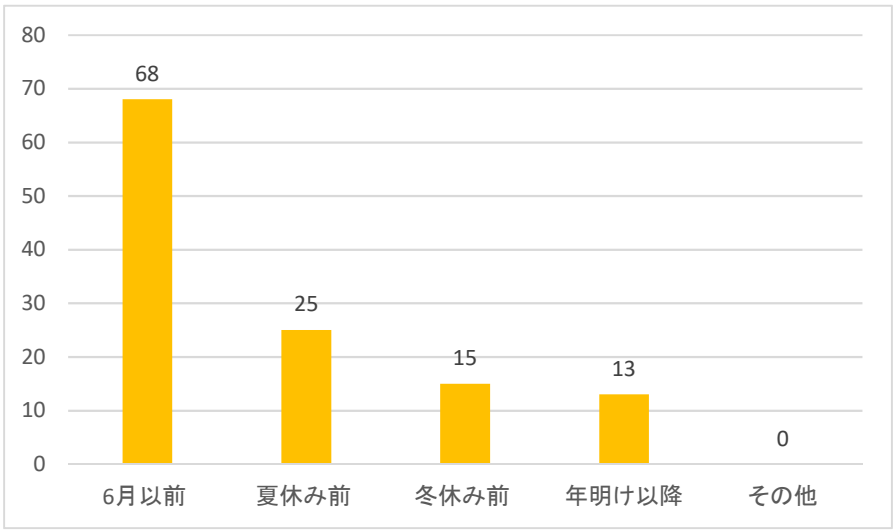
設問18　前項の設問で「スカウト型逆求人サイトを使った」と回答した方は、どのようなところを使いましたか。【複数回答可】

Offer Box	19
アカリク	5
iroots	1
LabBase	16
キミスカ	2
dataキャンパス	5
キャアリアチケットスカウト	2
Longnavi	0
スカウト型逆求人サイトは使わなかった。	87
その他	7



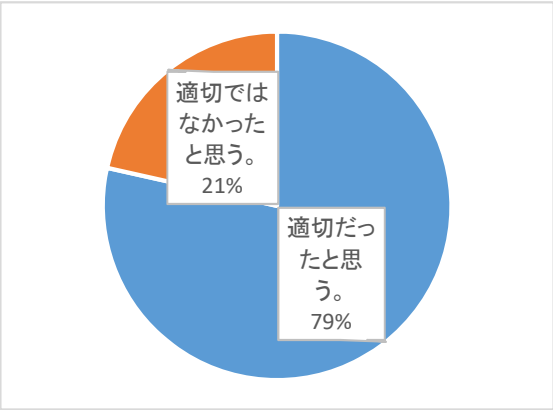
設問19　就職先の情報収集は博士前期課程1年のいつ頃から始めましたか。

6月以前	68
夏休み前	25
冬休み前	15
年明け以降	13
その他	0



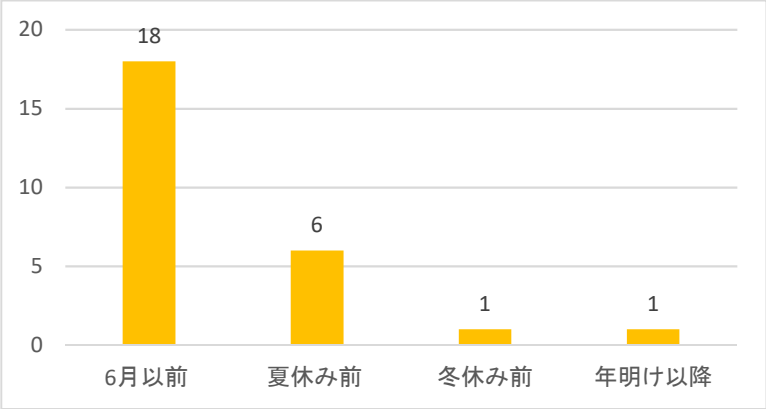
設問20　情報収集を始めた時期は適切でしたか。【2者択1】(必須)

適切だったと思う。	95
適切ではなかったと思う。	26



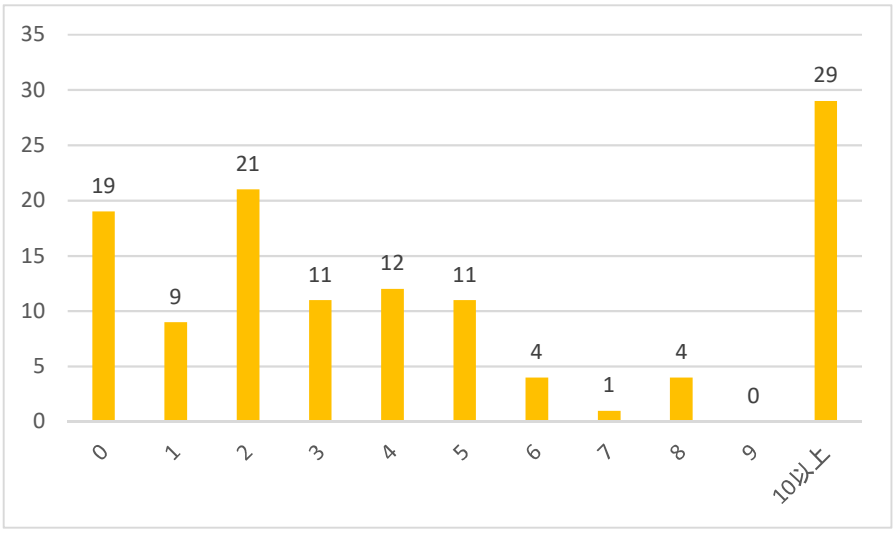
設問21　情報取集はいつ頃から始めればよかったと感じていますか。

6月以前	18
夏休み前	6
冬休み前	1
年明け以降	1



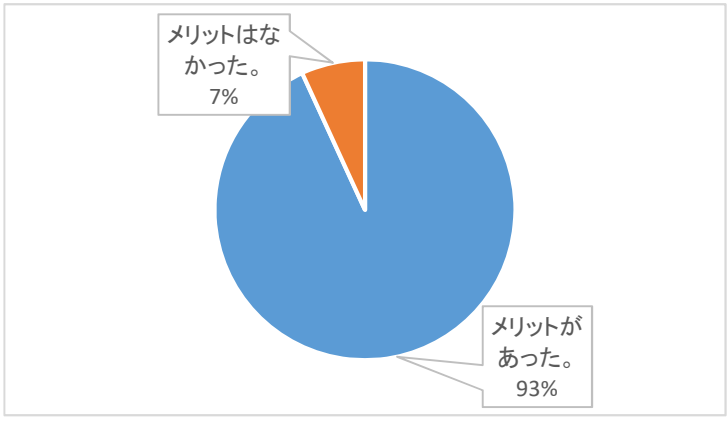
設問22　企業の主催するオープンカンパニーに参加した回数を選択してください。

0	19
1	9
2	21
3	11
4	12
5	11
6	4
7	1
8	4
9	0
10以上	29



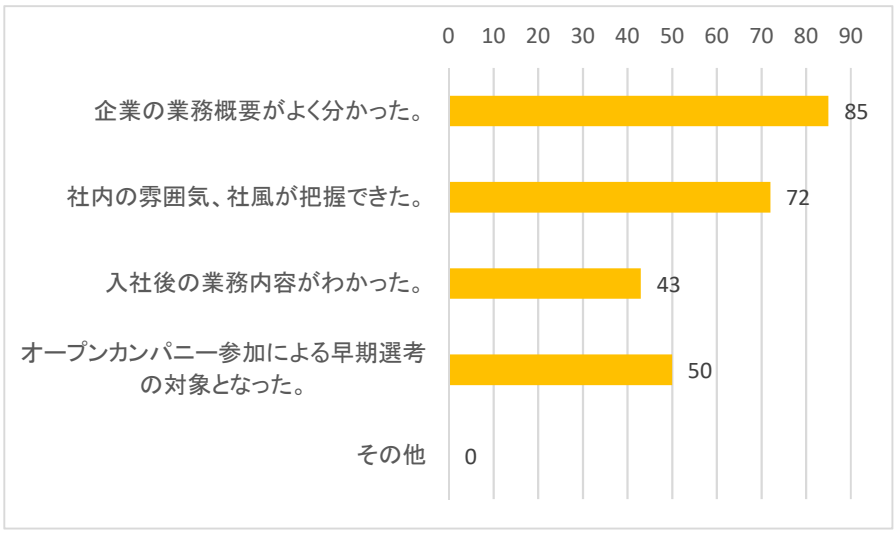
設問23　オープンカンパニーに参加したメリットはありましたか。【2者択1】(必須)

メリットがあった。	95
メリットはなかった。	7



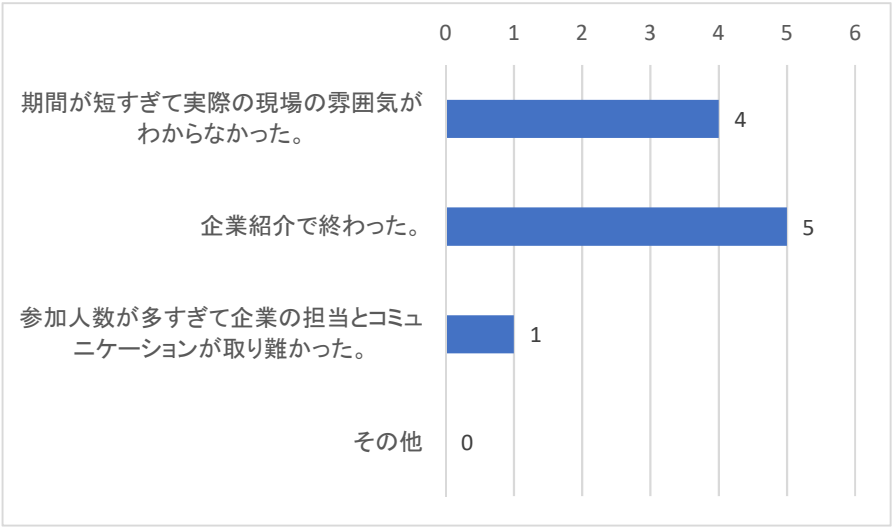
設問24　設問16 で「1, メリットがあった」と回答された方にお伺いします。その理由を選択してください。(複数回答可)

企業の業務概要がよく分かった。	85
社内の雰囲気、社風が把握できた。	72
入社後の業務内容がわかった。	43
オープンカンパニー参加による早期選考の対象となった。	50
その他	0



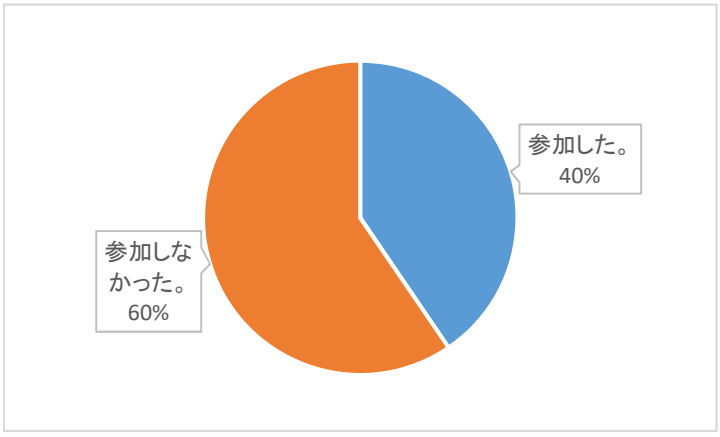
設問25　設問16 で「2, メリットはなかった」と回答された方にお伺いします。その理由を教えてください。（複数選択可）

期間が短すぎて実際の現場の雰囲気がわからなかった。	4
企業紹介で終わった。	5
参加人数が多すぎて企業の担当とコミュニケーションが取り難かった。	1
その他	0



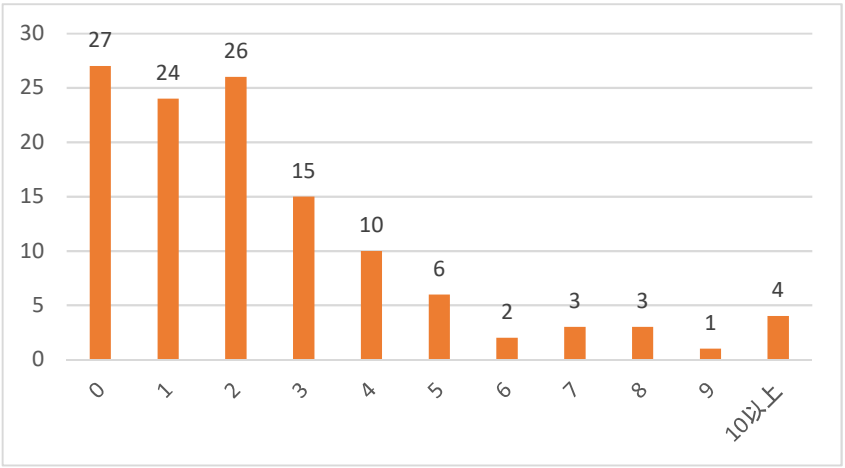
設問26　５日以上のインターンシップ（2日間以上の就業体験を含む）に参加しましたか。（大学を通して参加したものも含む）【2者択

参加した。	49
参加しなかった。	72



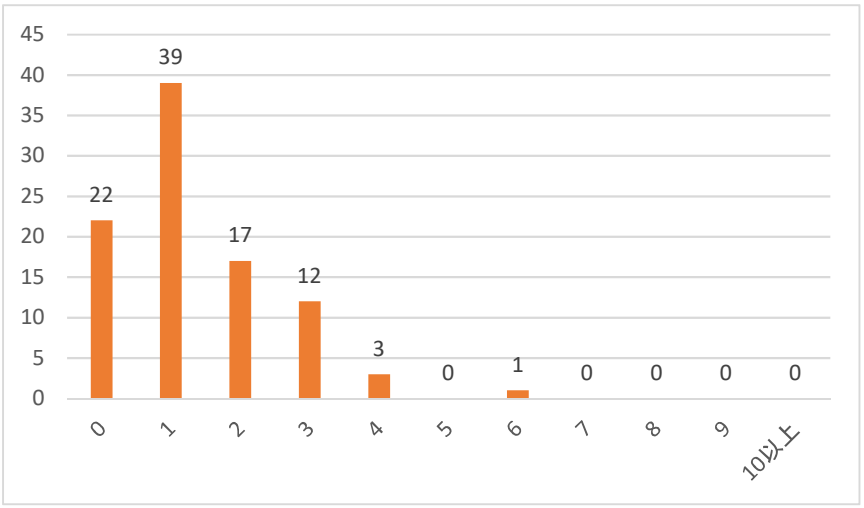
設問27　インターンシップ等（就業型、オープンカンパニーも含む）に参加した企業のうち実際何社に応募しましたか。（インターンシップに参加した企業等に応募しなかった方は”0”を選択してください。）

0	27
1	24
2	26
3	15
4	10
5	6
6	2
7	3
8	3
9	1
10以上	4



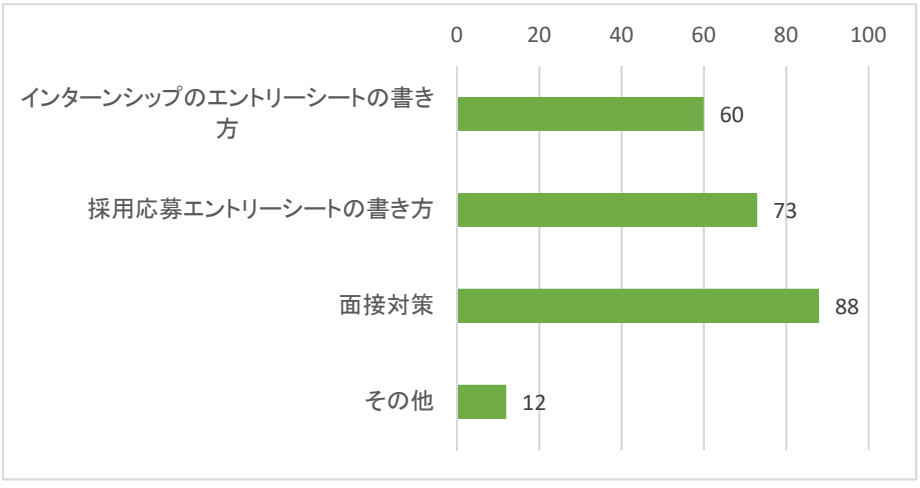
設問28　インターンシップ等（就業型、オープンカンパニーも含む）に参加した企業のうち何社から内定（内々定も含む）を得ましたか。

0	22
1	39
2	17
3	12
4	3
5	0
6	1
7	0
8	0
9	0
10以上	0



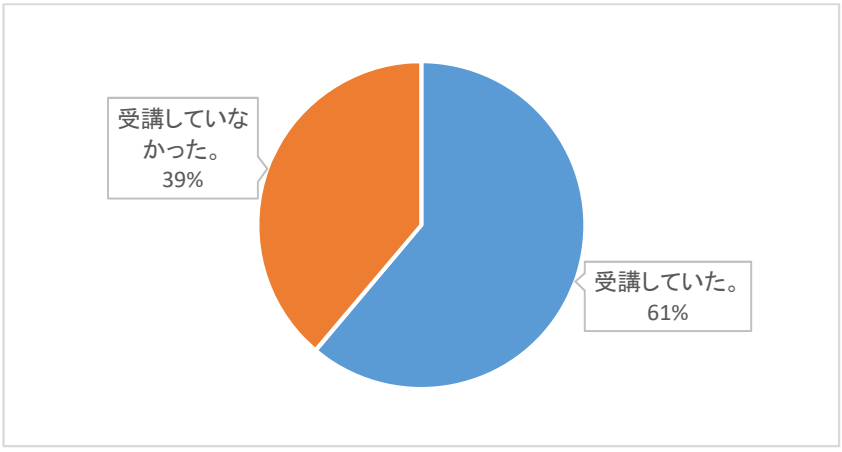
設問29　就活で教えて欲しい情報は何ですか。（複数回答可）

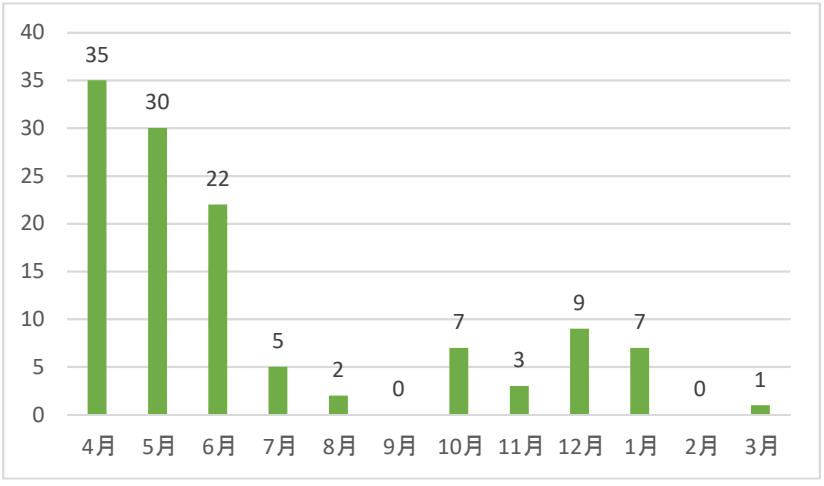
インターンシップのエントリーシートの書き方	60
採用応募エントリーシートの書き方	73
面接対策	88
その他	12



設問30　もしエントリーシートの作成法についてのガイダンスなどがあったら、あなたは受講していましたか。【2者択1】(必須)

受講していた。	74
受講していなかった。	47



設問31　上記のガイダンスがあるとすれば何月頃が最適だと考えますか。

4月	35
5月	30
6月	22
7月	5
8月	2
9月	0
10月	7
11月	3
12月	9
1月	7
2月	0
3月	1